



事務局だより

7月号

令和3年度 通常総会を開催しました

【出席総数：2,812名】（内訳 当日出席：60名、委任：1,160名、議決権行使：1,592名）

令和3年度通常総会を、6月18日(金)西区民文化センターホールにて開催しました。



今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの会員の皆様に書面による「議決権行使」や代理人への「委任状提出」にご協力いただき、又当日出席された方にはできる限りの感染対策のもと、総会の審議を行うことができました。

「令和2年度事業報告」「令和3年度事業計画」「令和3年度収支予算」についての3件の報告と「令和2年度決算報告」「定款の一部変更」

「役員（理事）の選任」についての議決を行い承認されました。

辞任された山崎理事長、児玉理事、尾津理事に代わり、建部理事、高橋理事、村田理事が新役員に就任され、総会後の理事会で建部理事が新理事長に選任されました。

公益社団法人広島市シルバー人材センター第21期役員（令和3年度）

新任

区分	氏名	所属等	区分	氏名	所属等
理事長	建部 賢次	広島市シルバー人材センター理事長	理事(会員)	宮原真理子	福祉家事(西区)
常務理事	保田 卓己	広島市シルバー人材センター事務局長		岩田 一典	施設管理(西区)
理事 (行政機関・その他関係団体)	伊木 剛二	広島商工会議所事務局長		望月 豊博	剪定(中区)
	中山 幸子	広島市地域女性団体連絡協議会常任理事		上田 明	除草(中区)
	高橋 博	広島市老人クラブ連合会会長		神庭 充史	派遣事業(東区)
理事(会員)	武市 浩二	連合広島広島地域協議会事務局長	監事 (会員)	藤波 俊彦	東区
	柄脇 常雄	学識経験者		高田 次郎	東区
	濱野 幸子	地域世話人(中区)			
	蒲生 健次	地域世話人(東区)			
	村田 祥子	地域世話人(南区)			
	家島 保隆	地域世話人(西区)			
	粉岡 勝義	地域世話人(安佐南区)			
	大久保俊彦	地域世話人(安佐北区)			
	寺岡ツタ子	地域世話人(安芸区)			
	塚田 明夫	地域世話人(佐伯区)			

新理事長あいさつ

設立40周年記念式典を開催しました

当センターは、昭和56年6月30日に設立して以来、おかげさまで40周年を迎えました。新型コロナウイルス感染防止のため、大人数が集う賑やかなイベント等は控え、通常総会に合わせて記念式典を開催し、永年にわたりセンターに貢献された方々を表彰しました。



1 感謝状贈呈

ア 永年にわたり、当センターの事業をご理解いただき、高齢者に対して雇用の場を提供いただくなど、シルバー事業に多大な貢献をいただいた発注者の方々

学校法人エリザベト音楽大学 特別養護老人ホームくすの木苑 株式会社コーシン
株式会社サンリブ サンリブ五日市店 株式会社善管 太平ビルサービス株式会社広島支店
広島駅弁当株式会社 一般財団法人広島県環境保健協会 一般財団法人広島ゴルフ倶楽部
社会福祉法人平和会

イ シルバー事業の発展に顕著な功績があった功労者、功労団体

磯田 朋子 堀口 力 柄脇 常雄 広島市中野小学校 小山 巖

2 表彰状贈呈

ア 当センター事業の発展のため、20年以上就業を通じてご尽力いただいている方々

石田 博子 石谷 守 石橋マサエ 上田 孝子 海老原普子 岡田 吉蔵
鎌田 直子 児島 正二 田澤 求 津田 周三 常川キヨコ 戸高 利江
中村 貞義 服部 勝彦 花本 智明 平西ヒサヨ 廣木 昭代 福井 敏夫
堀田 勝義 増田 保 三浦 孝夫 三村サクヨ 宮崎 順弘 三吉 重三
三好 春喜 持田 愛子 山縣 末子 横本 範昭 横山美智子 吉岡 龍輔
渡辺 信義

イ 地域世話人として、また役員として理事会及び専門部会で永年活躍され、シルバー事業のため多大な貢献をされた方々

大谷 諭 奥田 勝海 熊地妃和子
小清水宮子 増田 保 綿谷 嘉朗

ウ 永年にわたり、当センター事業の発展に貢献し、功績顕著な就業グループ及び団体

ソーイングサービス班 シルバー活性化検討会議 中野ふれあい農園



(以上敬称略)

新人研修（再度のお知らせ）

シルバー人材センターに新たに入会された会員の皆さまには、はじめての就業を迎える前に新人研修を受講していただくこととなっています。しかしながら、市内全域に新型コロナウイルス感染拡大防止対策が発出されていることから各事務所で新人研修を取り止めております。

すでにご予約いただいている会員の皆様におかれましては、大変なご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。感染拡大防止対策解除後、ご予約いただいた順に次回研修日をご案内する予定となりますので今しばらくお待ちください。

なお、防止対策発出中に就業依頼があった場合は、個別にご対応させていただくこととなりますので予めご了承ください。

ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。



交流カフェ 3か月ぶりの開催

緊急事態宣言及び感染拡大防止対策により6月、7月の交流カフェは中止とさせていただきましたが、8月は、3か月ぶりに「交流カフェ」を再開する予定です。開催にあたり、飛沫防止ボードや消毒など、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底いたしますので、安心してご利用ください。

久しぶりにお会いする方、はじめて顔を合わせる方、シルバー会員同士楽しいひとときをお過ごしください。

交流カフェ

日時：2021年8月2日(月)
9:30～11:30

場所：広島市シルバー人材センター
本部4階 会議室
(広島市中区西白島町23-9)

※ 次回開催は9月1日(水)です
会員交流の場です。ぜひお越しください!

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって中止する場合がございますので、来られる前には本部事務局へお問い合わせください。



7月は、安全・適正就業強化月間です！

シルバー人材センターでは、国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全・適正就業強化月間」としています。この期間中に、理事長をはじめ安全・適正就業部会の委員による就業現場視察を行う予定です。

また、令和2年度～4年度の全国統一スローガンとして「いつまでも 働く喜び 無事故から」を掲げ、職員、会員の皆さんで組織をあげて事故の撲滅を図っていくこととしています。



会員の皆さん、事故の事例やヒヤリ・ハットを、「他人ごと」ではなく「自らのこと」として受け止めて安全に対する意識を高め、事故ゼロを目指しましょう。

また、これからは熱中症にも気を付けなければいけない時期になります。熱中症は屋外作業だけでなく、屋内作業でもなることは十分にあり得ます。こまめな水分補給と体調管理に気を配り、熱中症を防ぎましょう。

令和3年度の傷害事故と賠償事故の発生状況（6月末現在）

番号	発生日	職業分類	傷害事故の内容
1	4月	屋外清掃	トイレ掃除でスノコを移動させようとしたときに腰を痛め、診察の結果圧迫骨折だった。
2	5月	屋内清掃	清掃作業後、体の向きを変えようと右足を軸に振り返った際に、右膝を捻り右ひざに痛みが走った。
3	6月	剪定	剪定作業中、トリマーに手を添える際、誤ってトリマーの刃の部分に触れて左手中指を切り10針縫った。
4	6月	剪定	生垣に絡まった藁を脚立に乗って取り除いていた際に、突然藁が切れバランスを崩し転倒、その際に右手首を骨折した。

番号	発生日	職業分類	賠償事故の内容
1	6月	ビル清掃	清掃するため角にあった消火器を移動させようとしたところ、消火器を倒し消火剤を誤って噴出させた。
2	6月	除草	延長コードを投げた際に、生垣に当りコントロールを失ってコンセントの部分が車の後部バンパーに当り傷つけた。
3	6月	剪定	剪定作業後、三脚から降りる際に踏みざんを踏み外し、落ちた際にヘルメットが窓ガラスに当たり破損させた。
4	6月	剪定	剪定作業で、発注者と打ち合わせたが、確認不足により伐採してしまった。

受講料
無料

ベビーシッター研修会のお知らせ



育児支援のお仕事に役立つ内容になっています。現在育児支援のお仕事をしている会員さん、今後育児支援でのお仕事を希望している会員さん、ぜひ参加してください。

研修会開催日時(事前申込制)

開催日	8月19日(木)	8月20日(金)
時間	10:00 ~ 12:00	
場所	広島市シルバー人材センター本部 4階研修室 (中区西白島町23-9)	
定員	18名	18名

※両日とも同じ内容です。都合のよい日でお申し込みください。

○ 内容 「乳幼児期の特性と食事のあり方～楽しく食べる子どもに～」

講師：比治山大学 教授 加島浩子氏

「乳幼児の病気・事故の対処法について」

育児支援担当職員

○ 持参物 筆記用具、健康チェック表(参加者に送付します)

○ 申込受付 7月20日(火)～開始 先着順

定員(各日18名)に達したら締め切ります。

○ 申込先 TEL (082) 223-1156

○ 問合せ先 本部業務第一係 坂井、谷中



～研修会へ参加される方へお願い～

当日はマスクの着用をお願いします。なお、発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方、健康や体調に不安のある方などは参加をお控えください。また、2週間以内に感染拡大している地域や国への訪問歴がある方も参加をお控えください。

健康 ぷらざ

新型コロナ流行と食中毒

企画：
日本医師会

No. 543

指導：がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 部長 今村 顕史

新型コロナ対策だけでは食中毒は予防できません

新型コロナウイルス感染症対策は、ほかの感染症の予防にもなります。マスク着用や手洗い習慣によって、昨年の夏は、子どもの三大夏風邪といわれる手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）が減り、冬にはインフルエンザが激減しました。その一方で、食中毒の発生は続いています。食中毒は、汚染された食事などを介して、菌やウイルスが口から入ることによって起こるからです。食中毒では、新型コロナ対策中だからこそ注意すべき点があります。

デリバリーや持ち帰りの料理は 早く食べましょう

新型コロナ対策で会食が制限されるため、飲食店ではデリバリーや持ち帰りが急増しています。調理してから食べるまでの時間が長くなるほど、菌の量が増えて食中毒を起こしやすくなるので、デリバリーや持ち帰りの食事はできる限り早めに食べる必要があります。冷所に強い食中毒菌もあるので、冷蔵庫を過信しないことも大切です。



キャンプやバーベキューは 日常と異なる環境に留意しましょう

野外のほうが安心だからと、アウトドアのキャンプでの食事やバーベキューの機会も増えています。キャンプやバーベキューでは、調理者の手洗いを徹底しましょう。調理前にはクーラーボックスや保冷剤を活用するなど、食材の扱いにも注意が必要です。水の汚染にも注意してください。まな板や包丁などの調理器具の消毒、生肉などを扱う箸やトングの使い分けも重要なポイントです。

菌の多くは肉の表面についているので、焼肉やステーキは表面全体をしっかりと焼きます。ひき肉でつくったハンバーグや鶏肉のつくね、成型肉のサイコロステーキなどは、中心部まで十分に加熱してください。

